

# お葬式ハンドブック



## お葬式 恥をかかない 大人のマナーハンドブック

お葬式に参列するときに恥  
をかかないための小冊子



和布製品、風呂敷、ふくさの通販店

## Motai店主の メッセージ

- この度は、お葬式ハンドブックをダウンロードしていただきありがとうございました。
- 訃報は突然やってきたりします。親しい方や家族との悲しい別れ以外にも会社関係やご近所とのお付き合いもあります。
- 故人との最後のお別れをするお通夜や葬儀はご遺族にとってとても大切な行事です。参列する時には、大人のたしなみをもって相手に礼を尽くした振る舞いが大切です。
- 先方の宗教、地方のしきたりなどによっても礼儀が違う葬儀への参列の際にあわてないようにとの願いをこめて、このハンドブックを作成いたしました。
- 皆様のお役に立てていただければ幸いです。



## 訃報のご連絡をいただいたら

❖ 死去のご連絡をいただいたら：故人や遺族の方とのお付き合いの深さにより、弔問の時期や方法を選びます。親しい方や親戚の場合には、出来るだけ早く弔問します。お悔やみの言葉とお通夜、告別式の詳細(日時、場所、宗教)を伺います。

	注意ポイント	その他
とりあえずの弔問	<ul style="list-style-type: none"> <li>★派手な服装でなく、地味な服装でかまいません。</li> <li>★とりあえずの弔問なので、香典などは用意しないで結構です。</li> <li>★親しい間柄の場合「なにかお手伝いできることはありますか」と申し出ます。</li> <li>★長居はしません。お悔やみを述べて、改めて伺うことを伝えて失礼します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆通常、玄関先でお悔やみの言葉をお伝えして、すぐに失礼します。ご挨拶の言葉は「この度は、本当に突然のことでお悔やみを申し上げます」などです。</li> <li>☆ご遺族の方にすすめられたら、上がってお線香をあげます。</li> <li>☆故人とのご対面をすすめられた際には、ご遺族の方が顔にかけた白布をとってくださるのを待ってからにします。</li> </ul>
お通夜に伺う	<ul style="list-style-type: none"> <li>★宗教により、不祝儀袋の表書きが違いますので、ふさわしいものを用意します。</li> <li>★お通夜の開始10分前には式場に到着するようにしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆仏教では、「通夜」</li> <li>☆神式では、「通夜祭」</li> <li>☆キリスト教では、「通夜の儀式」</li> </ul>
葬儀に伺えない時には	<ul style="list-style-type: none"> <li>★喪主または、「故〇〇様ご遺族様」宛に弔電を打ちます。 電話:115 お悔やみ電報: <a href="http://dmail.foo.ne.jp/daishi/daishi2.html">http://dmail.foo.ne.jp/daishi/daishi2.html</a></li> <li>★式場がお寺や斎場の場合には、弔電もそちらにお届けします。</li> <li>★お香典にはお悔やみの言葉を添えて、出来るだけ早く現金書留にて送ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆お悔やみ電報の文例から選びます</li> <li>☆自分の文章の場合：哀しみが重なることを意味する「かさねがさね」「重ねる」「くれぐれ」「次々」などの言葉を使わないように注意します。</li> </ul>



## 弔問する時期について(故人との間柄順)

- ✧ 弔問に伺う時期は、故人やご遺族との関係や親しさにより変わります。遺族の気持ちと自分の立場に合った弔問時期を選びます。
- ✧ ご不幸のお知らせをいただいたら、お通夜、告別式の日時と場所、宗教を確認しましょう。
- ✧ 弔電は葬儀、告別式の前日までにNTTの115(お悔やみ電報:  
<http://dmail.foo.ne.jp/daishi/daishi2.html>)に申し込みます。

間柄	弔問方法
親しい親戚	★訃報を聞いたらすぐに駆けつけます。お通夜、告別式での立場は喪主側になります。
遠方の親戚	★お通夜、告別式には参列します。参列できない場合には、弔電を打ち、後日お参りします。
疎遠な親戚	★お通夜か告別式には参列します。参列しない場合には、弔電を打ちます。その場合お香典は郵送します。
親しい友人	★訃報を聞いたらすぐに駆けつけ、お手伝いを申し出ます。お通夜、告別式ともに参列します。
知人	★お通夜、葬儀、告別式のいずれかに参列します。
疎遠な知人	★お通夜、葬儀、告別式のいずれかに参列するか、参列しない場合にはお香典を郵送します。
ご近所	★お手伝いが必要な場合には、すぐに駆けつけます。お通夜、葬儀ともに参列します。
会社の上司	★すぐに駆けつけ、裏方としてお手伝いします。お通夜、葬儀ともに参列します。
知人の両親	★お通夜、葬儀、告別式のいずれかに参列します。
その他	★付き合いが浅い場合には式には参列しないで、後日お香典だけを郵送します。



# すぐに駆けつける際の心得



親しい親戚や、特に親しい友人などの訃報の際には出来るだけ早く駆けつけます。お通夜や葬儀の準備のお手伝いの気持ちで伺います。

## 🦋 駆けつけた際のマナー

- ★ ご遺族の方の気持ちを考えた心をこめた挨拶をします。「このたびは、突然のことで大変でございましたね」などと言葉少なめにお悔やみの言葉を述べます。「何かお手伝いすることがございましたら、お声をかけてください。」とお手伝いを申し出ましょう。
- ★ 長居はせず、お玄関先でお悔やみを申し上げて、失礼します。ご遺族からすすめられたら、あがってお線香を上げ、さらにご遺族から申し出が合った場合のみ、故人と対面します。
- ★ お香典などは、まだ持参しません。故人と特に親しかった際には、「枕飾り」として故人の鉢物だったものなどを少しお持ちすることもあります。

## 🦋 覚えておきたいポイント

- ★ 亡くなってすぐに駆けつける際には、礼装はかえって失礼になりますので、お手伝いなどできる動きやすい服装で伺います。
- ★ 亡くなった死因や最後の様子など伺うことは控えましょう。
- ★ 対面して取り乱すなどの心配がある場合には、その旨説明して、ご辞退しましょう。白布はご遺族の方が取るまで待ちます。



## ご不幸の儀式に参列する 服装は？



- ✧ 女性は、きちんとしたシルエットのオーソドックスなデザインで、肌を隠すスーツなどを着用します。バッグ、靴、ストッキングも黒で統一します。アクセサリーは、パール、ブラックパール、黒珊瑚などで、光るものは避けます。
  - ★ ハンカチは白か地味な色の無地を。傘やコートもできれば、黒やグレーにしましょう。
  - ★ 長い髪はまとめ髪にするほうが印象が良いでしょう。
  - ★ 靴は黒のパンプスが適切です。エナメル、爬虫類の皮製、サンダルなどは不向きです。
- ✧ 男性は、原則は黒の礼服です。但し、会社から行く場合などには紺やグレーのダークスーツで、ネクタイを黒の無地にすれば大丈夫です。金時計やネクタイピンなど光るものははずします。ネクタイピンをする場合にはパールなどでカフスボタンと揃えます。ワイシャツは白で、カジュアルなボタンダウンなどは避けましょう。
- ✧ 女性の和服の喪服は、故人の親族の場合に多く着用されます。黒無地で五つ紋が正礼装です。小物も全て黒で統一します。足袋は白、アクセサリーは着用せず、羽織は着ません。
- ✧ 子供の場合、小学生以下でしたら、白いシャツにグレーや紺などの服を合わせるのが望ましいです。制服があれば、それを着用するのが最もふさわしいです。



# お悔やみの言葉について



お悔やみの言葉は、手短かに心をこめてお伝えします。忌み言葉を使わないように注意します。

## 🦋 お通夜の前の弔問

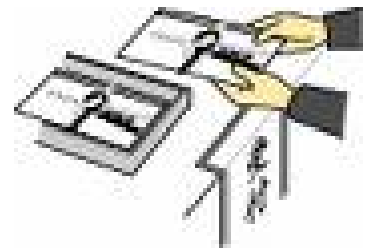
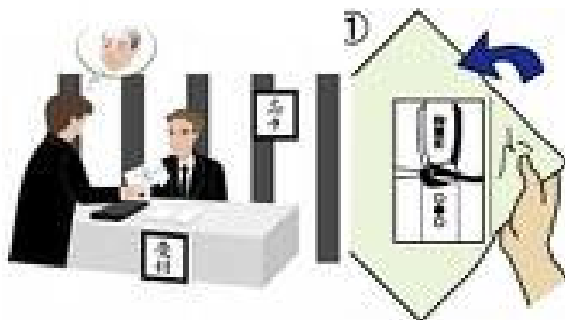
- ★ 「このたびは、突然のことで大変でしたね」と心をこめてご挨拶します。
- ★ 「何かお手伝いすることがございましたら、お声をかけてください」と申し出ます。

## 🦋 お通夜、葬儀、告別式の受付で

- ★ 一礼してから「このたびはご愁傷様です」「大変残念です」「おさびしゅうございます」などと挨拶します。

## 🦋 忌み言葉とは

- ★ 不幸が重なるを意味する「重ねる」「かさねがさね」「くれぐれも」「再三」
  - ★ 不幸がまた来ると意味の「また」「たびたび」
  - ★ 苦を連想する数字の「九」や、「死」を表す「死ぬ」「死亡」
- このような言葉を会話に入れないように注意します。



金封をお持ちするときには、**ふくさ** に包んでお持ちするのが礼儀です。ふくさについての説明は、このハンドブックの13,14ページをご覧ください。

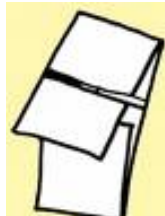


## 御霊前・お供えの贈り方 【佛式】通夜・葬儀

弔い事全般(お通夜、葬儀、法要)にお持ちする贈答品は、宗教により扱いが、違います。

故人の逝去を悼み冥福を祈って別れを告げる儀式です。地方独特な習慣や宗教により様々な形態がありますので、それに準じて参列しましょう。

贈り物のスタイル	贈る先との関係	表書き	様式
葬儀に弔慰金 (お香典)を贈る	親族 親族以外	御霊前 (御佛前) 御香奠 御香料 御悔み 御香華料	金封: 黒白結切り 黒白あわび結び 双銀結切り 双銀あわび結び 黄白結切り 黄白あわび結び のし袋: 藍銀結切り 藍銀あわび結び 黄白(銀)結切り 黄白(銀)あわび結 び 白無地 のし紙: 藍銀結切り 藍銀あわび結び 黄白結切り 黄白あわび結び
葬儀にお供え物 を贈る	親族 親族以外	御供物 御供	のし袋: 藍銀結切り 藍銀あわび結び 黄白(銀)結切り 黄白(銀)あわび結 び 白無地 のし紙: 藍銀結切り 藍銀あわび結び 黄白結切り 黄白あわび結び
お通夜・葬儀での 志	遺族	(東)志 (西)粗供養	黄白あわび結び



- 御霊前・御香料など名前は中央に薄墨で書きます。紙幣は新札を避けます。
- 連名の場合目上の方が右側です。3名以上の場合は、〇〇一同とします。
- 裏側は上側を下にかぶせます。
- ふくさに包んで持参します。

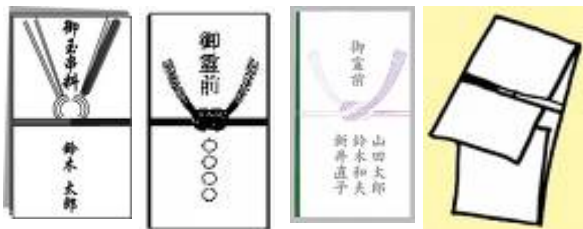




## 御霊前・お供えの贈り方 【神式】神葬祭(通夜祭・葬場祭)

弔い事全般(お通夜、葬儀、法要)にお持ちする贈答品は、宗教により扱いが、違います。  
故人の逝去を悼み冥福を祈って別れを告げる儀式です。地方独特な習慣や宗教により様々な形態がありますので、それに準じて参列しましょう。

贈り物のスタイル	贈る先との関係	表書き	様式
葬場祭に弔慰金を贈る	親族 親族以外	御霊前 玉串料 御柩料	金封: 双銀結切り 双銀あわび結び 黄白結切り 黄白あわび結び 引熨斗なし のし袋: 白無地
葬場祭にお供え物を贈る	親族 親族以外	御供物 御供	のし紙: 藍銀結切り(蓮なし) 藍銀あわび結び(蓮なし) 黄白結切り 黄白あわび結び
通夜祭・葬場祭での志	遺族	偲び草 志 茶の子	



- 御霊前・玉串料など名前は中央に薄墨で書きます。紙幣は新札を避けます。
- 連名の場合目上の方が右側です。3名以上の場合は、〇〇一同とします。
- 裏側は上側を下にかぶせます。
- ふくさに包んで持参します。



御霊前・お供えの贈り方 キリスト教  
**【カトリック】前夜祭・葬送式**  
**【プロテスタント】前夜祭・葬送式**

弔い事全般(お通夜、葬儀、追悼式)にお持ちする贈答品は、宗教により扱いが、  
 違います。  
 故人の逝去を悼み冥福を祈って別れを告げる儀式です。地方独特な習慣や宗教により様々な  
 形態がありますので、それに準じて参列しましょう。

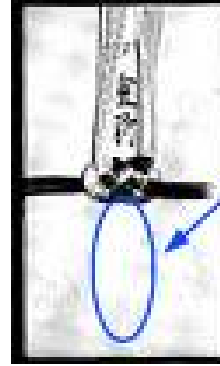
贈り物のスタイル	贈る先との関係	表書き	様式
カトリックの 葬送式に弔慰金 を贈る	親族 親族以外	御花料 御霊前	金封： 双銀結切り 双銀あわび結び 水引熨斗なし のし袋： 白無地 御花料字入
カトリックの 前夜祭・葬送式 時の志	遺族	粗品 志	のし紙： 藍銀結切り(蓮なし) 藍銀あわび結び(蓮 なし) 黄白結切り 黄白あわび結び
プロテスタントの 葬送式に弔慰金 を贈る	親族 親族以外	御花料 御霊前	金封： 双銀結切り 双銀あわび結び 水引熨斗なし のし袋： 白無地 御花料字入
プロテスタントの 前夜祭・葬送式 時の志	遺族	粗品 志	のし紙： 藍銀結切り(蓮なし) 藍銀あわび結び(蓮 なし) 黄白結切り 黄白あわび結び



- お花料・献花料など名前は中央に書きます。紙幣は新札を避けます。
- 連名の場合目上の方が右側です。3名以上の場合は、〇〇一同とします。
- 裏側は上側を下にかぶせます。
- ふくさに包んで持参します。



# お香典を贈る時の手順



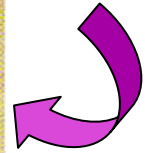
送り主の名前

宗教に合った不祝儀袋を用意します。  
水引の結びは結びきりかあわび結びです。表書きの文字数やお香典の金額は、4や9(死や苦)を避けて、新札は避けます。

金封の表書きは、毛筆、筆ペン、サインペンなどで、薄墨で書きます。表書きは「御霊前」などと書きます。贈る側の名前は水引の下、中央にフルネームで書きます。



ふくさは右回しに相手の方に向けます。



二人以上の連名で贈る場合には、右側に年齢や目上の高い順から名前を書きます。但し、金包みの左肩に宛名がある場合には、左からの順になります。グループなどの名前では贈る場合には「〇〇会有志」「〇〇一同」などと書き、半紙などに全員の氏名を連記して、中包みに同封します。グループ名などない場合、代表者の名前を書き、「外一同」とします。

お通夜・葬儀の当日にお香典をお持ちするときには、金封をふくさに納めてお持ちします。受付で、金封をはさんだふくさを開き、金封を取り出し、ふくさを閉じます。閉じたふくさの上に金封を乗せて右回しにして相手の方に向けます。ふくさを台替わりにして、相手の方に上の金封を取っていただきます。



## お香典の目安 お通夜・葬儀に参列するとき

### お香典の金額【目安表】

データ：1998年6月 三和銀行ホームコンサルタント調べ

贈り先	年代別				東西別	
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代 以上	関東	関西
全体	3千円	5千円	5千- 1万円	1万円	5千円	5千円
勤務先の上司	3千円	5千円	1万円	1万円	1万円	5千円
勤務先の同僚	3千円	5千円	5千円	5千円	5千円	3- 5千円
勤務先の部下			5千円	1万円	5千円	5千円
取引先社員の家族	3- 5千円	5千円	5千円	5千円	5千円	3千円
取引先関係		5千円	1万円	1万円	1万円	1万円
祖父母	1万円	1万円			2万円	1万円
両親		10万円	10万円	10万円	10万円	10万円
兄弟・姉妹		5万円		3万円	5万円	3万円
おじ・おば	1万円	1万円	1万円	1万円	1万円	1万円
その他の親類	1万円	1万円	1万円	1万円	1万円	1万円
友人・知人		5千円	5千- 1万円	5千円	1万円	5千円
となり・近所	3- 5千円	3千円	5千円	5千円	5千円	5千円
友人・知人の家族	5千円	5千円	1万円	5千円	5千円	5千円
その他		3- 5千円		5千- 1万円	3千円	5千- 1万円

※空欄はデータが無しか少ないものです



## 弔事のふくさミニ知識 お通夜・葬儀に参列するとき

知っているの特をする:お葬式ミニ知識 **ふくさ** について  
お通夜や葬儀に出席するときに持参するお香典は結びきり(1度きりの意味をこめて)の不祝儀袋に入れたものをふくさに納めてお持ちするのが礼儀です。お悔やみの席にふさわしい袱紗をご紹介します。

### 🦋 袱紗の色

- ★ グレーなど地味目の色がおすすめです。
- ★ 紫:日本では、紫は高貴な色です。相手を敬い礼儀を尽くす色ですので、慶弔ともに贈るふくさとして適しています。

### 🦋 袱紗の柄

- ★ 蓮、菊、なつめ、萩などのシンプルな柄が弔事用によく使われます。

### 🦋 袱紗の種類

- ★ 金封ふくさ:お財布のように金封を納められて便利です。
- ★ 台付きふくさ: 金封を差し出すときに便利な台がついています。
- ★ 小風呂敷・飾り結びふくさ: 金封の大きさに合わせて包むことができます。

ふくさについては、下記情報ページもご覧ください。

<http://www.hospitalityjapan.jp/keichou/index.html>

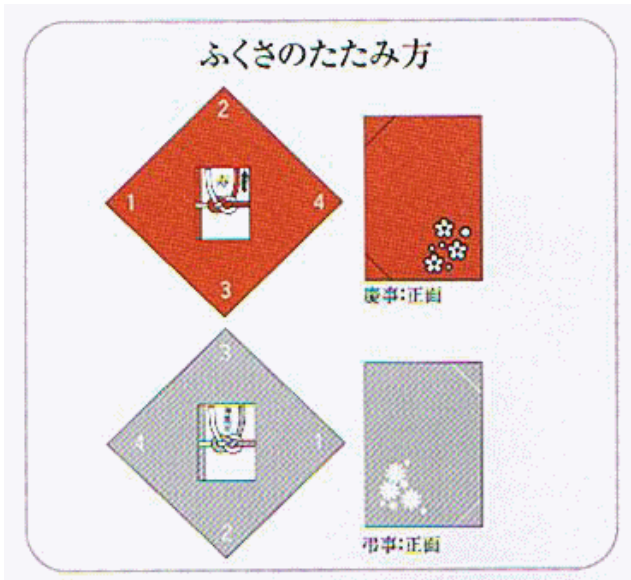


[刺繍ちりめん念珠入れ金封ふくさを購入する](#)



# ふくさのたたみ方

## ふくさ(小風呂敷)の場合



慶事は右包みです：

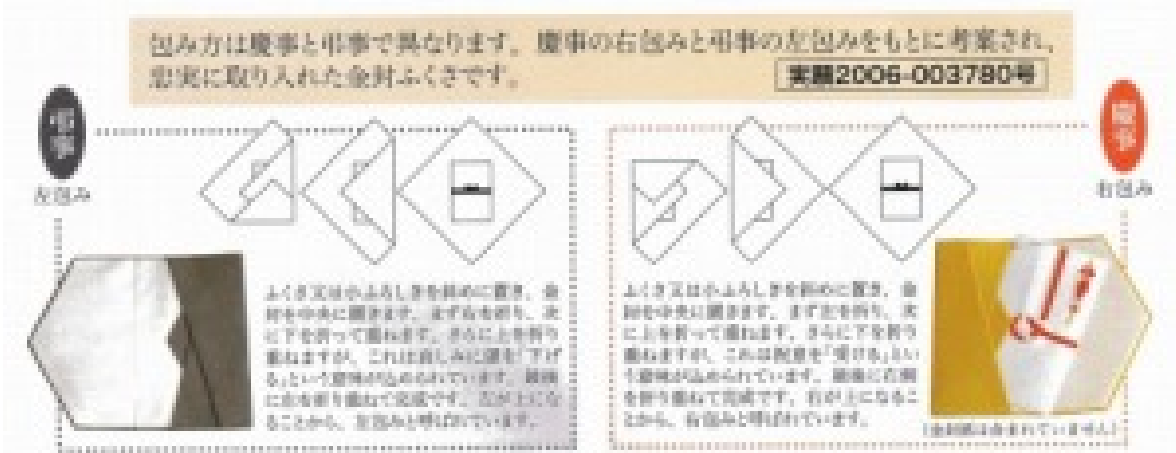
ふくさ又は小ふろしきを斜めに置き、金封を中央に置きます。まず左を折り、次に上を折って重ねます。さらに下を折り重ねますが、これは祝意を「受ける」という意味が込められています。最後に右側を折り重ねて完成です。右が上になることから、右包みと呼ばれています。

弔事は左包みです：

ふくさ又は小ふろしきを斜めに置き、金封を中央に置きます。まず右を折り、次に下を折って重ねます。さらに上を折り重ねますが、これは哀しみに頭を「下げる」という意味が込められています。最後に左を折り重ねて完成です。左が上になることから、左包みと呼ばれています。

## 金封ふくさの場合

※弔事用のふくさでも右開きのものもあります。





## 不祝儀を郵送する

✧ 不祝儀の表書きは、宗教によって違います。遠方などで、どうしてもお葬式やお通夜に伺えない場合には、現金書留の郵送にて、送ります。お悔やみの言葉を書いた手紙を添えましょう。



	注意ポイント	その他
不祝儀を贈る	<p>★お通夜や告別式の受付で、手短にお悔やみを述べ、その場でふくさからお香典を取り出し、不祝儀をお渡しします。</p> <p>★都合が付かない、遠方などで、郵送する場合には、弔電を打ち不祝儀袋にお悔やみのお手紙を添えて、現金書留で送ります。</p> <p>★お香典にはお悔やみの言葉を添えて、出来るだけ早く現金書留にて送ります。</p>	<p>☆熨斗の表書きは宗教により違いますので、注意しましょう。宗派を問わず使えるのは、「御霊前」の白黒、双銀の結び切りです。</p> <p>☆受付でのお悔やみの言葉は、「この度は、ご愁傷様でございます」などです。</p>



## お供物、お花を贈る

- 🦋 「お供え物」としては、線香、ろうそく、果物、お菓子などがあります。「供花」には、生花、花輪などがあります。
- 🦋 通常、花輪は会社や団体から贈り、個人からは生花を贈ります。

	注意ポイント	その他
お供え物を贈る	<p>★仏教では、故人の好んだ食べ物、「果実」「菓子」「線香」「ろうそく」。神式では、「果実」「菓子」「酒」など。キリスト教では、生花のみです。</p> <p>★仏教の場合、お供え物は、正式には奉書紙で包み、双銀または白黒の結びきりの水引で、表書きは「御供物」と書きます。</p>	<p>☆仏教の場合、「のし」の表書きは、「御供物」か「御供」です。現金を「御供物料」として包み、ご遺族に「故人のお好きだった食べ物をお供えください」とお渡しすることも出来ます。</p> <p>☆神式では、食べ物以外にお酒も供えられます。ただ、飾り方にしきたりがあるので、表書きを「御玉串料」として、現金を差し上げるのがよいでしょう。</p>
生花を贈る	<p>★生花はどの宗教でも贈れます。自分で、持参するか、葬儀社やお花屋さんに頼んで手配することも出来ます。白黒や黒のリボンか水引をかけます。白を基調としたアレンジで原色の花は避けます。</p>	<p>☆お通夜の日の午前中に到着するように手配します。</p>
供花を贈る	<p>★供花とは祭壇の横にお供えする贈り主の名札つきの生花のことです。</p> <p>★式場によって、並べる場所の都合や、決まりごとがありますので、喪家や斎場の意向を確認してから、葬儀社に手配することをお勧めします。代金は「御花代」として白封筒などで用意します。</p>	<p>☆葬儀の前日に到着するように手配します。</p>
花輪を贈る	<p>★式場によって、並べる場所の都合や、決まりごとがありますので、喪家や斎場の意向を確認してから、葬儀社に手配することをお勧めします。代金は「御花代」として白封筒などで用意します。</p>	<p>☆葬儀の前日に到着するように手配します。</p>



生花



花輪

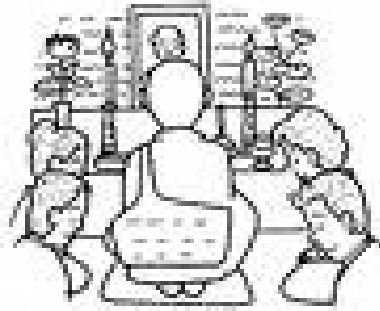


供花





# お通夜について



## お通夜とは？

【通夜】は、遺族や親族、故人と直接親交のあった知人や友人が参列して、故人の冥福をお祈りします。また、告別式に参列できない場合には、それほど親しくなくてもお通夜に弔問してもかまいません。

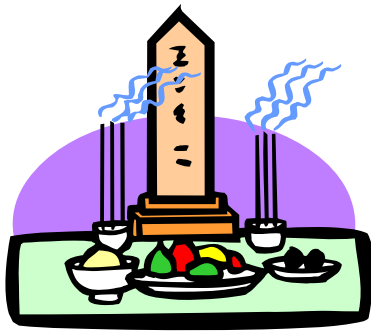
仏教の場合にはお通夜(以下に説明します)、神道では「通夜祭」、キリスト教での「通夜」の儀式も同様です。いずれも参列者が一同に会して行われます。

- 🦋 通常午後6～9時ごろまでの時間で行われます。弔問は早すぎたり、遅すぎたりしないように、始まる10分くらい前に伺うのが礼になっています。
- 🦋 受付では一礼して「この度はご愁傷さまです。」などのお悔やみの言葉を述べるか軽く黙礼します。
- 🦋 告別式にも出席する場合には、お香典はお通夜のおきにお持ちします。告別式では、記帳のみ行います。ふくさごと受付の台において、目の前で開けます。金封の向きを相手から見て正面になるようにして、両手で差し出します。受付が無い場合には、遺族の方か世話役にお渡しするか、拝礼の後でご霊前に供えます。
  - ★ 式場での会話は小声で、言葉少なくしましょう。挨拶も目礼程度にします。
  - ★ 一般の弔問客は、お焼香を済ませ次第退席しますが、通夜ぶるまい(弔問客に夜食を用意して、感謝の気持ちを表すことです。)に招かれたら、なるべくお受けしましょう。





# 葬儀・告別式について



## 葬儀と告別式の区別とは？

【葬儀】： 故人が「無事に成仏するように」と願い、読経・念仏の供養をする儀式です。定刻の10分くらい前に到着して参列し、そのまま続いて行われる告別式にも参列します。

【告別式】： 会葬者が「この世で善行を足す」ように、お焼香などを行い、故人とお別れする儀式です。告別式のみ出席する場合には、時間内に会場に伺い、ご焼香、拝礼の列の後尾に着きます。

## 【葬儀・告別式】に参列する際の振る舞いは？

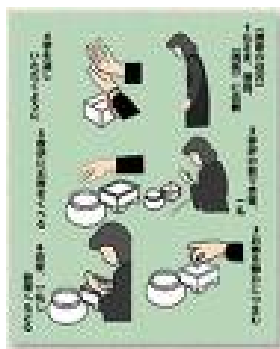
- 🦋 受付では、一礼してお悔やみの言葉を手短かに述べましょう。例：「この度はご愁傷様です」「大変お気の毒でございました」「お寂しいですね」
  - ★ 式場での会話は、小声で言葉少なく、挨拶も目礼などにしましょう。
- 🦋 お香典は、**ふくさ** ごと受付の台に置き、受付の方の目前で開けます。向きを相手から見て正面になるようにして、両手で差し出します。
- 🦋 「精進落とし」のふるまい(お食事)は、お手伝いや、火葬場に同行した人へのご供養です。喪主のご挨拶とお食事をいただいたら、長居をせずに祭壇にお参りして失礼します。
  - ★ 火葬場には身内とごく親しい人が行きます。身内以外で故人の親しい友人などが参列する際には、事前にお知らせしましょう。骨あげ(火葬後お骨を壺に入れる)は、血縁の近い順に二人でひとつの骨をはさんで、骨壺におさめます。

# 仏式葬儀に参列する: 1



## 立ってご焼香する場合

1. 左手に数珠(持っている場合)を持ち、席を立って、僧侶とご遺族に一礼して、焼香台にすすみます。
  2. 焼香台の3-4歩前で止まり、故人の遺影と仮位牌を拝見してから台の一步手前まで進みます。数珠を手にかけて手を合わせます。
  3. 右にある抹香(粉末状の香)を、右手の親指、人差し指、中指でつまみ、頭を垂れるようにしたまま目を閉じ、目の辺りの高さまで捧げます。
  4. 抹香を静かに左側の香炉の中に落とします。これを1~3回繰り返します。
  5. ご焼香が済んだら合掌します。遺影を拜んで3歩下がり、僧侶と親族に一礼し、向きを変えます。
- ★ 数珠は仏教徒は持ちます。数珠を持つのは左手に、合掌の際には右手にかけます。
  - ★ ご焼香の人数が多く、混雑している場合には、一度だけ丁寧にたけばよいでしょう。
  - ★ 会場が狭い場合などは、回し焼香(お盆に乗せた焼香用具を順番に渡して、焼香します)をする場合もあります。





## 仏式葬儀に参列する:2

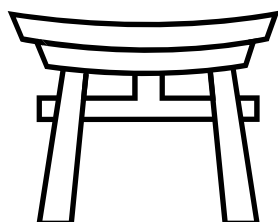


### 座ってご焼香する場合

1. 左手に数珠(持っている場合)を持ち、僧侶とご遺族に一礼して、祭壇の手前までにじり寄り、遺影に向かって合掌します。
2. 数珠を持っていれば左手に掛け、右手で線香を取ります。お通夜では、普通1本または2-3本を。
3. 複数本ならば一度に線香に火をつけて、左手で仰いで日をおさめます。
4. 他の線香につかないように、1本ずつ離して立てます。
5. ご焼香が済んだら、合掌して故人のご冥福を祈ります。
  - ★ 線香を寝かせて供える場合もあります。
  - ★ 鈴や木魚に触れないように気をつけます。



# 神式葬儀に参列する



## 神道式：玉串(神式の捧げ物)を捧げます

1. 最初に身を清めます。ひしゃくに水を汲み、左手、右手の顔にかけ、次に左手に水を受けて口をすすいで懐紙で拭きます。遺族と神官に一礼します。
  2. 神官から玉串を受け取ります。右手で上から枝元を持ち左手で下から葉先を支えます。
  3. 祭壇の前で自分に枝元側を向けて拝礼し、玉串を180度時計回りに回転させて、葉先を手前にして台に捧げます。
  4. 2～3歩下がり二礼し、音を立てず二拍手(忍び手)し、丁寧に一礼。更に2～3歩下がり神官、ご遺族に一礼します。
- ★ 神式では、「通夜祭」が仏式の通夜、「葬儀祭」が葬儀・告別式にあたります。
  - ★ 仏教言葉の冥福・供養・成仏や数珠やお線香など仏教に関するものは避けま



最初に身を清めます

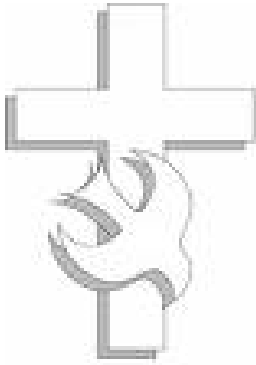


玉串を奉納します





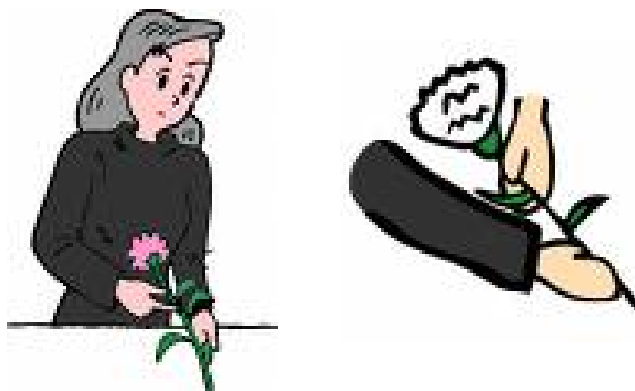
# キリスト教式葬儀に参列する



キリスト教式： 献花をします。

1. 用意されているお花を、花が左になるように両手で受け取ります。
2. 花を胸の高さで両手に持ち、献花台の前に進んで一礼します。
3. 花が手前に来るように時計と逆に回し、両手で献花します。
4. 2～3歩下がリー礼し、カトリック教徒は十字をきります。ご遺族に一礼します。

★ キリスト教式では、葬儀ミサの後の告別式で献花をします。



両手で献花します



## 葬儀のお手伝いや世話人を頼まれた時に

- 🦋 世話人を頼まれたら、喪家の立場にふさわしく身支度し、振舞いましょう。
- 🦋 心を込めて、丁寧に対応するよう心がけましょう。
- 🦋 ご焼香などは、混雑していない、葬儀の最初か最後に行います。

	注意ポイント	その他
受付係	<ul style="list-style-type: none"> <li>★近親者でなくても、喪家の代理として喪服を着用します。</li> <li>★会葬者に弔問のお礼をして、会葬者名簿に貴重をお願いします。お香典や供え物を預かり、弔電の受け取りを行います。</li> <li>★会葬者を誘導する場合がありますので、式場の間取りや葬儀全体のスケジュールを把握しておきます。</li> <li>★弔問客のお悔やみの言葉には、喪家側の立場から、「本日はお忙しい中をありがとうございます。」などと感謝の言葉を述べます。</li> <li>★お香典は「お預かりいたします。」と一礼しながら両手で受け取ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆名簿には、弔問客の氏名や住所を必ず記帳していただきます。お香典袋と記帳名に連番合番をふると整理しやすいでしょう。</li> </ul>
会計係	<ul style="list-style-type: none"> <li>★会葬者名簿の連番と合わせながら、お香典の金額を確認して、記入します。</li> <li>★出来るだけ複数の人数で行い、正確を期しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆弔問客から見えないように、ついたての後ろや受付の後方で、後ろ向きで行います。</li> </ul>
携帯品係	<ul style="list-style-type: none"> <li>★コートなど(貴重品以外の携帯品)をお預かりします。</li> <li>★式場へ誘導します。</li> <li>★弔問客が退場する際に、喪主に代わってお礼を述べます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆貴重品は預からずに携帯していただきます。</li> <li>☆預かり札が用意されていれば、それを利用します。</li> </ul>
道案内係	<ul style="list-style-type: none"> <li>★最寄り駅から式場までの道順の要所要所に立って案内します。</li> <li>★多くの弔問者の目につきますので、立ち居振る舞いに注意します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆冬でもコートを着用しないほうが望ましいので、厚着をするなど防寒対策をしましょう。コートを着用する際には喪章をつけます。</li> </ul>
台所係・接待係	<ul style="list-style-type: none"> <li>★台所係は、「通夜ぶるまい」や火葬の後の「精進落とし」のご供養の席の準備や世話をするほか、家族、葬儀のお手伝いの方たちのお食事を用意します。</li> <li>★接待係は、控え室の僧侶や、供養の席での会葬者の飲食のお世話をします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆地味めの働きやすい服装に、白いエプロンを持参します。</li> <li>☆どちらの係も年配の方のご指示をあおぎ、裏方でもおしゃべりは慎みましょう。</li> </ul>



## 葬儀の挨拶について

### 葬儀の挨拶の基本

- お悔やみの挨拶
- ★ 日頃親しくしている家のご不幸の場合には、できるだけ早めに弔問に伺い、「このようなことになり、なんとお悔やみを申し上げてよいか、とてもさびしいです。せめて、何かお手伝いをさせてください。」など心のこもったお悔やみの言葉とお手伝いの申し出をします。
  - ★ 一般の弔問の祭には、先方が落ち着いた頃に訪れ、「この度は誠にご愁傷様でございます。」「思いがけないことで、どんなにかお哀しみのことでございましょう。お疲れが出ませんように。」などと心のこもった言葉で手短にお悔やみを述べ、長居をせずに失礼します。
- お通夜の挨拶
- ★ お通夜は本来、故人と親しかった人たちが御霊前に会して、夜を徹して故人を偲び、思い出話などで、故人とのお別れを惜しむ席です。挨拶は「どんなにお力落としのことかと存じます。心からお悔やみを申し上げます。」「おつらいことでいらっしゃると思いますが、どうぞお気を落とされませんように。」などと簡単な挨拶を心を込めてご遺族の方に伝えます。花や供え物のある場合には、「どうぞ御供え下さい」と言葉を添えて、手渡します。
- 弔辞
- ★ 弔辞は告別式の時に、故人と親しかった人が、その霊前に永遠の別れを惜しむ言葉を読み上げるものです。故人に向かって「あなた」というかたちで呼びかけます。会葬者に哀しみと、故人とのかかわり、尊敬していたこと、優しい人柄などを自分なりに表現しましょう。簡単に故人とのエピソードなど紹介すると気持ちが伝わりやすいでしょう。なるべく感情を抑えて、故人に話しかけるように、低く静かに話します。感情が抑えきれなくなったら、いったん気持ちを落ち着けて、涙を抑えてから、再び読み始めてもよいでしょう。
- 喪主の挨拶
- ★ 悲しみの中でも会葬者へのお礼の気持ちを述べます。内容は1. 会葬して下さったことへのお礼、2. 故人が生前お世話になったことへのお礼、3. 故人の回想、4. 遺族への支援のお願いなどです。
- 法要の挨拶
- ★ 出席者への感謝と故人の思い出、遺族の近況を織り交ぜた挨拶をします。月日が経つと法要の雰囲気も和やかにさりげなく故人の明るいエピソードなど入れましょう。





## お葬式よくある質問 Q&A

- 🦋 お通夜と告別式には両方出席するべきですか？
- ★ 故人と自分との関係を考えて決めます。本来、お通夜は遺族、近親者、故人とかかわりの深かった人たちが集まって別れを惜しむものですから、それほど親しくない場合には告別式に出席するのが望ましいです。どうしても都合が付かず、告別式に出席できないため、お通夜のみ出席する場合には、お通夜の席上でその旨を告げ、簡単にお詫びを申し上げます。
- 🦋 お香典を何人かの連名で出す場合にはどうしたらよいですか？
- ★ 2～3人の場合は全員の名前を、年長者または目上のひとから順に右から連名で書きます。それ以上の人数の場合には、「〇〇一同」「〇〇有志」などという表書きにして、全員の名前を書いた紙を包みの中に入れます。
- 🦋 お焼香と線香の違いはありますか？
- ★ 仏式の葬儀では、「お焼香」を行います。これは、香気により霊前を清めて、霊や仏を供養するという意味があります。一般的には、お通夜、告別式では抹香を、そのほかの弔問やお通夜にはお線香をあげることが多いみたいです。ただし、お通夜でも通夜式や、法要の読経後のお焼香は抹香を使います。
- 🦋 お線香は何本たてれば良いのですか？
- ★ 通常1本だけ立てます。2～3本たてた場合にも1本ずつ立てます。ただし、宗派により2～3本に折ってねかせてたく場合もあります。
- 🦋 お焼香の回数は何回行うのですか？
- ★ 1回の香に心を込めるという意味で、1回、焼香、従香で2回とする場合、「仏・法・僧」の3宝に捧げるという意味で3回とするなど、宗派により違いがあります。あまり回数にこだわらずに、捧げる心を大切に考えてお焼香しましょう。



## 参考

- ✧ プロデュース: THINK OUT OF THE CASE 株式会社  
★ <http://www.hospitalityjapan.jp/aboutus/index.html>
- ✧ 葬儀用ふくさ  
★ <http://fukusa.hospitalityjapan.jp/>
- ✧ 冠婚葬祭マナー  
★ <http://www.jp-guide.net/manner/>
- ✧ 冠婚葬祭 kankon  
★ <http://www.kankon.com/>
- ✧ 冠婚葬祭の贈答マナー情報 ご贈答マナー  
★ <http://www.taka.co.jp/okuru.htm>
- ✧ 冠婚葬祭大全  
★ <http://www.kankonsousai.com/>